

	UDCK(柏)	UDCO(大宮)	UDCBK
設立の経過	1991年千葉大学柏農場、2000年東京大学柏キャンパス開設 2000-2001年柏北部地域の土地区画整理事業が事業認可 2005年につくばエクスプレス開業 開発余地が多くある中で、2006年に住宅開発等を推進していた三井不動産よりまちづくりに関する提案があり、UDCの設置が進められ11月にUDCKがオープンした。2008年に柏の葉国際キャンパスタウン構想策定(県・市・千葉大学・東京大学・三井不動産)	1980年代に駅前再開発事業の都市計画決定がなされたものの、合意形成に失敗し、2000年代に入り都市計画決定を廃止した過去がある。 2010年にさいたま市都市局において大宮駅周辺地域戦略ビジョン策定、2016年に首都圏広域地方計画に位置づけられた。 そうした中で、 <u>戦略ビジョン実現のため地元要望によりUDC方式に着目され2017年4月にUDCO設立。</u>	2012年に未来研究所の報告に草津市にアーバンデザインセンターの必要性が盛り込まれる。 2015年草津市版アーバンデザインセンターの必要性についての議論が始まり、計7回の懇話会で必要性・事業内容・運営方法などが議論された。 2016年10月にフェリエ南草津5FでUDCBK開設、2017年8月に西友南草津店1Fに移転。
UDCの設置目的・ミッション	「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の推進	「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」の推進	長期的な見通しを持った都市デザインの構想 南草津ビジョンにより一定のまちづくりの指針は示されているが、計画や構想などにより明確に示されているものではない。
UDCの活動エリア	柏の葉キャンパス駅～柏たなか駅の周辺 約13km <sup>2</sup> (構想の主対象区域) その中でも主に構想の中核エリア	大宮駅周辺 約1.9km <sup>2</sup> (大宮駅周辺地域戦略ビジョン対象エリア) その中でも主に東口地区 約0.5km <sup>2</sup>	草津市全域 約48.65km <sup>2</sup> 南草津ビジョンエリア 約15.47km <sup>2</sup>
組織形態	任意団体UDCKを母体とし、 調査研究・デザイン調整等を担う(一社)柏の葉アーバンデザインセンターと公共空間管理運営を担う(一社)UDCKタウンマネジメントにより構成。	一社「アーバンデザインセンター大宮」を設立し、任意組織「アーバンデザインセンター大宮(UDCO)」によりUDCOを運営 <u>さいたま市より大宮駅周辺地域戦略ビジョンの推進を目的とする業務委託および都市開発その他に関する業務委託を一社で受託している。</u>	草津未来研究所の事業としてUDCBKを運営している。
人員体制	<b>総勢16名</b> センター長、副センター長4名、ディレクター(D)9名、事務スタッフ2名 【内訳】 <b>専任8</b> (事務局長(直)、副センター長(三井)、 D5:直1、三井2、市出向、市委託、受付スタッフ(直)) <b>非常勤8</b> (センター長(大学)、副センター長3(大学2、市1)) D4:大学2、三井2	<b>総勢8名</b> センター長、副センター長2名、専門スタッフ4名、事務スタッフ1名 【内訳】 <b>常勤3</b> (サブディレクター、デザインコーディネーター、事務スタッフ) <b>非常勤5</b> (センター長、副センター長2、デザインコーディネーター2)	<b>総勢7名</b> センター長、副センター長、ディレクター2名、会計年度職員3名 【内訳】 <b>常勤5</b> (チーフディレクター、ディレクター、会計年度職員3) <b>非常勤2</b> (センター長、副センター長)
主な事業	・スマートシティの具現化 次世代モビリティの実証、健康につながるまちづくり ・アーバンデザインの推進 公共空間のデザイン・マネジメント ・コミュニティの形成 まちづくりスクール、子どものための学び・体験プログラム	・おみややストリートテラス 道路拡幅予定地などの利活用 ・ストリートプラントプロジェクト 植栽(植木屋が多い歴史的背景)を使った場づくり ・ <u>ストリートマネジメントスクール(実証実験まで行う学習事業)</u>	・学習事業(スクール、セミナー) ・社会実験準備事業
その他	・ディレクターは直接雇用、三井不動産の委託、市や大学からの出向など様々な形態となっている。だいたい3年程度で入れ替わるようになっているが、UDCKでディレクターをしていたことが本人のキャリアのステップアップにつながる。 ・施設は東京大学の一角であり、賃料は無料。設備(机や椅子など)は三井不動産、光熱費や人件費などを市が負担して運営をしている。	・2017年4月に設立しているが、2015年、2016年と2年間かけて設立準備会議を設け組織形態、人員体制、どのような業務を行うかなど議論し開設している。 ・隔週開催のUDCO定例会議にさいたま市都市局の大宮駅東口まちづくり事務所から2～3名出席し、情報共有している。市の組織出ないためUDCOに都市計画以外の情報(観光、健康など様々)が集まり、施策を横断したような取り組みが可能となる。 ・人材確保の面ではプロジェクトに基づき確保するため、 <u>定期性は無い。契約形態・勤務体系、副業の規定など柔軟な対応をしている。</u>	